



ライブラリースタッフからのお知らせ



こんにちは！ライブラリースタッフ（LS）です。私たちは飯田図書館の活性化を目指して、日々活動しています。しかし、今年は残念なことに、例年通りの活動ができませんでした。そんな中でも、少しでもみなさんに私たちの活動や図書館の楽しさを知ってもらいたくて、今回この新聞を作りました。LS メンバー 6 人で力を合わせてとても楽しく書いたので、みなさんにも楽しく読んでもらえたら嬉しいです。ぜひ、図書館を利用する際の参考にしてください！

現在の利用方法

● 開館時間

平日 9 時から 19 時

- ・来館時にカウンターで体温の口頭確認を行います。

必ず家で検温をしてからご来館下さい。

（37℃以上または体調不良の場合は入館できません。）

- ・来館の際には学生証を持参して下さい。

※飯田キャンパスの学生も看護図書館を利用できます。

平日は 20 時まで開館、土曜日は 17 時まで開館

● 利用方法

直接来館して下さい。

- ・カウンターで学生証を提示して受付をして下さい。

（氏名・体温・体調・利用時間を申告）

- ・館内に一定数以上入館している場合、お待ちいただくことがあります。

- ・換気で窓を開けているので、体温調節ができる服装でお越し下さい。

- ・利用方法が変わった場合は、図書館からメールやホームページでお知らせしますので、必ず閲覧して下さい。

※文献複写の取り寄せ※

他機関からの図書・文献複写の取り寄せは、図書館へ来館して受け取り可能な場合に申し込み可能です。

申込書を飯田図書館あてにメールで送るか、来館して提出して下さい。

● 利用制限

○共同研究室の利用は出来ません。

○ノート PC の貸出は出来ません。

○ラーニングコモンズ利用時は間隔を開け、対面で座らないようお願いします。

● 利用上の注意

○必ずマスクを着用して下さい。

○入館・退館時に手指消毒を行って下さい。

○ソーシャルディスタンスを保って利用下さい。

○館内での私語・飲食はしないで下さい。

○来館する際は、正門ではなく北門から入構して下さい。

● その他

遠距離に帰省している、講義で時間が取れない等の理由で、来館が困難な場合は貸出資料の郵送が可能です。

- * 貸出可否や返却に関わる内容等を図書館から連絡します。

・図書館資料郵送サービス(郵送費大学負担)

利用希望の資料名を、各図書館にメールで連絡して下さい。

* メールの件名に「○○学部○年図書貸出希望」と入れて下さい。

* 本文に、学籍番号・氏名・住所・電話番号・希望図書名を記入して下さい。

・文献複写サービス(郵送費大学負担)

飯田図書館・看護図書館所蔵の資料について、複写して郵送します。

* メールの件名に「○○学部○年複写希望」と入れて下さい。

* 本文に、学籍番号・氏名・住所・電話番号・複写希望資料名と複写ページを記入して下さい。

* 複写箇所の確認等、図書館から連絡します。

飯田図書館

Tel :055-224-5340

E-Mail : iidalib@yamanashi-ken.ac.jp

ライブラリースタッフ(LS)について



☆通常業務☆

無類の本好きが集まった**ライブラリースタッフ (通称: LS)**。私達は県立大学の図書館を「密かに」支えています。私達が主にしているのは返却本の片づけ、本の整理、図書館にある四紙（山梨日日、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞）に県立大学に関係のある人が載っていないかをチェックし、載っていたらそれを図書館入口に掲示をするなどです。シフト制で動いており、授業の合間をぬって司書さんの手伝いをしています。「地味な作業多くない？」とこの新聞を読んでくれている何人の人が思ったでしょうか。でもよく考えてみてください。本の順番がバラバラだったら？ いつまでたっても返却されない本があったら？ ○月○日の新聞のあの記事が見たいんだけどな・・・そんな時に「密かに」活躍しているのが私達 LS なのです。

例えば、館内の検索用パソコンで本を調べた場合、本の「請求番号」が表示されます。（請求番号とは本の主題を表す数字と作者の名前などが組み合わさってできた、本の住所のようなものです）番号順に並んでいない本の中から、お目当ての本一冊を探し出すのは少し面倒ですよね。そんな時に番号順にしっかりと並べてあったら、みなさんの苦労を少しだけ減らすことが出来ます。返却された本は返却作業が終わったものから、棚に戻しています。絵本から福祉等の専門書、教科書や小説などを複数冊抱えて元の場所へ。書庫に入れるのも私達の特権かもしれませんね。ちなみに長期休暇には書庫の本を含めた館内にある本の蔵書点検もしています。長い棚を見ると「こんなにやるの！」と思う時もありますが、「こんな本まであるのか！」といつもは見ない棚の本にワクワクしています。

新聞は県大生はもちろん、教授や学長先生の記事を何紙もまとめてチェックします。「へえあの子こんな活動してたんだ」「先生こんなことまでやってるの!？」と新たな発見があるかもしれません。一週間分の新聞は図書館内に、それ以前の新聞は月ごとに分けて共同研究室に保存してあります。いくらでも見比べたり、探したりするのは可能です。これを機に新聞をゆっくり眺めてみるのもいいかもしれませんよ。

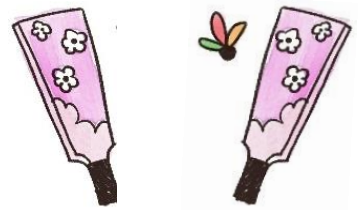


☆季節イベント☆

月ごとに**新着図書紹介**や**POP 制作、館内の装飾**もしています。毎月一回あるミーティングでテーマを決め、それに関する本を紹介しています。例えば昨年度は LS が十周年ということで通年企画「歴史をつなぐ一冊」を行っていました。一年かけて古代から未来まで毎月特集を組み、本の紹介をやっていました。例えば古代なら「古代生物特集」として人気の「ざんねんな生き物」シリーズや仕掛け絵本を紹介したり、明治・大正時代なら「文明開化と昔習った文豪特集」として夏目漱石や当時の芸術作品について紹介したりしていました。悲しいことに長い間 LS の活動が出来ていません。なのでこの通年企画も止まったままです。次世代を継ぐ LS 達が頑張ってくれれば嬉しいですね。期待を込めつつ、多くの学生さんが楽しめる企画を続けてほしいです。

企画といえば春ごろに**「LS おすすめの本」として本のプレゼント企画**も行いました。一年生をターゲットに毎年行っている図書館ツアーの際に、読みたいと思った本に投票してもらい抽選でその本をプレゼントしました。当たった学生のみなさんは喜んでくれたでしょうか。これでみなさんが本に触れる時間が増えれば LS としては嬉しい限りです。

一年生も二、三、四年生も学年が変わり、新しい年のスタートだという時に襲ってきたコロナという敵。当たり前が当たり前ではなくなってしまった社会で何かと不便な毎日が続いています。学校に行くのを「久しぶり」だと言えるのも今ならではのかもしれませんね。そんな時にみなさんの変わらない味方でいてくれるのは「本」かもしれません。風化しない研究や作品がみなさんのお役に立っているはず。県立大学がある限り、私達 LS はよりよい図書館を目指して活動を続けていきます。みなさんにとって少しでも楽しい場所として大学図書館がなれるよう本や人とのつながりを大事にしていきます。



☆図書館ツアー☆

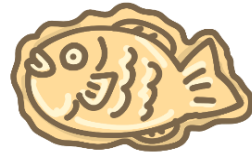
LS 春の大仕事「図書館ツアー」

新しく大学生になった一年生の為に、そして彼らの快適な図書館生活の為に図書館をぐらりと一周案内しています。今年もこの季節がやってきたかと思いながら、練習したりツアー後のアンケートをつくったり・・・今年の新入生にも体験してほしかったです。ツアー自体は貸し出し方法や期限などの基本情報から入口のコインロッカーやコピー機、検索用パソコンの使い方、雑誌のラインナップ、どこになんの本があるかまで詳しく説明します。抱持ち込み禁止なの！？と驚いた学生さんも多いはずです。私も一年生の時に驚きました。ツアーの最中には図書館を自由に見る自由時間もあり、特に一階のラーニングコモンズ（「静かに」が基本の図書館ですが、ここはコミュニケーションスペースでもあるので比較的自由に話ができます。蓋つきのものなら飲み物も持ち込み可）の絵本を見て、懐かしんでいる皆さんをよく見かけます。『もったいないばあさん』や『おまえうまそうだな』シリーズなど本一冊で盛り上げられる素敵な時間だと思います。図書館を一周して、最後に待っているのは「図書館クイズ」。ツアー内であった情報を簡単なクイズにして出題し、正解数が多かったグループにはなんと景品が！「さっき言ってたよね、これ」「え～どっちだろう」と悩む一年生もいっぱいいて、LS はとても満足です。

☆学園祭☆

LS には秋にも大仕事があります。そう、学園祭での「本のフリーマーケット」です。毎年古本を百円から二百円などの破格で販売しています。密かにやっているわけではないのですが、お客さんの入りはそこそこ・・・。来年こそはもっと盛り上げていきたいものですね。古本市の準備は夏ごろから始まります。校舎・図書館入口に古本回収BOXを設置し、寄付を募ったあと、一冊一冊丁寧に拭いていきます。それを値付けし、価格やジャンルごとに分けて、会場内に配置します。実は『のだめカンタービレ』や『好きっていいなよ』、『オトメン』、『オオカミ少女と黒王子』など人気のある漫画なども販売しています。来年の学園祭でお得な本をぜひ探しに来てください。

毎年、古本市と一緒にPOP展示もしているのですが、昨年度のテーマは「本で世界一周」。世界をエリア分け（アジア・ヨーロッパ・アフリカ・北アメリカ・中南米・オセアニア）し、各エリアにあった本の紹介をしました。韓国語の本や妖精の本までLSが選ぶ本も種々様々。LSは絵がうまい人が多いので、展示のクオリティも高いですよ。以前の学園祭ではインスタ映えを狙って、インスタグラム風の枠を作って写真スポットを作ったり、フォトプロップスを作ってみたりとLSのアイデアが詰まった展示になっています。毎年これらの行事を楽しみにLSも準備をしてきましたが、今年は大きなイベントは全て中止。四年生としては最後のイベントばかりだったので残念ではありましたが、こうして新聞を通して行事の説明が出来ることを嬉しく思います。来年からのLSの活動を楽しみに待っていてくださいね。後輩たちが頑張ってくれると期待しています。



☆飯田図書館について☆

☆飯田図書館 1 階

飯田図書館 1 階には主に新刊図書、雑誌、新聞、入って奥にあるラーニングコモンズには絵本・紙芝居や DVD、本学の先生のご著書(オレンジのシールが目印)や日本語学習、英語多読本、そして山梨に関係する資料などがあります。図書館 DVD などの視聴覚資料がありそれらも図書と同様貸出を行っています。図書を借りるときと同じように図書館利用カード(学生証)と一緒に受付に提出して貸出処理を行います。DVD の貸出は一度の貸出で 1 点まで、そして貸出期間が図書とは異なり 3 日以内となっているため注意しましょう。また館内の AV ブースの機器を用いて視聴覚資料は利用することができます。その際にも図書館利用カードを提示してください。

☆飯田図書館 2 階

2 階には、小説や歴史書、小学校、中学校で使われている教科書など、様々な本があります。無い場合は取り寄せることも可能です。また、インターネットを使って情報を収集することもできます。「レポートや課題のための資料を探したいが、どうやって探せばいいかわからない」という場合、図書館司書に検索方法を教えてもらうこともできます。(要予約) 詳しくは図書館カウンターまで！

☆LS による本の紹介☆



「燃えよ剣」 司馬遼太郎 918.6/Shi/6 飯田書庫

新選組副長・土方歳三の一生を描いた大作です。岡田准一さん主演で、映画化も決定しています！土方歳三は、現在の東京都日野市で生まれ育ちました。14 代将軍徳川家茂の護衛として京都へ向かうと、道場の仲間だった近藤勇や沖田総司とともに新選組を結成します。その後、新選組は幕末の動乱に巻き込まれていき、ついには戊辰戦争最後の戦いの地である函館へ。歳三は最後の一人になっても、武士よりも武士らしく、りりしく、新政府軍と戦い続けました。鬼の副長として恐れられた人物ですが、決して仲間を見捨てない強さがあったり、実は優しい一面があったり、俳句が趣味だけど実は下手・・・という、ちょっと抜けた部分もあったり。「これほどまでに、生き方も見た目も(!?) カッコいい歴史上の人物は、なかなかいないのでは?」「歴史の教科書で名前だけサラッと勉強して終わり、ではもったいなさすぎる!」と、私はこの本を読んで思いました! また、番外編として「新撰組血風録」(司馬遼太郎 918.6/Shi/7 飯田書庫)という短編集もあります。「燃えよ剣」では語られなかった新選組の隊士たちにスポットを当てた物語が収録されていますので、ぜひ 2 冊合わせて読んでみてください。どちらも長編ではありますが、新選組のかっこよさに夢中になって、あっという間に読んでしまうと思います!

～土方歳三の名言!～

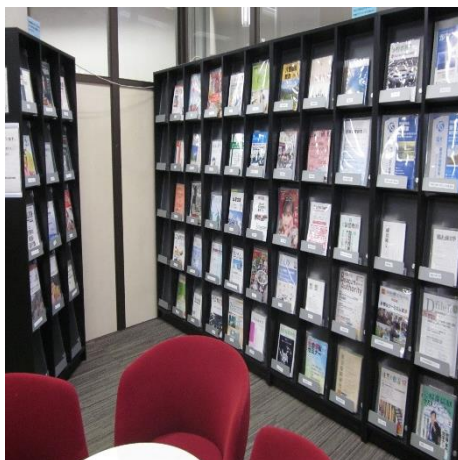
「たとえ御家門、御親藩、譜代大名、旗本八万騎が徳川家に背をむけようと弓をひこうと、新選組は裏切らぬ。最後のひとりになっても、裏切らぬ」 (「燃えよ剣」より)

歴史小説はあまり手に取ったことがない・・・という方! 飯田図書館には、畠中恵、宮部みゆき、朝井まかて、大島真寿美、北原亜以子の著書など、初めてでも読みやすい歴史ものが多数あります! ちょっとでも面白そう! と思ったら、発掘してみてくださいね。



1階の雑誌コーナーには、注目してほしい雑誌が多数あります！今回はほんの一部ですが、目的別にご紹介します！
気になるものがあったらぜひ手に取って、ページを開いてみてください。

バックナンバーは、棚を
開けた中にあります



● 外国文化を楽しみたい！

・「SCREEN」

洋画好きな方必見の、映画情報誌です。これを読めば、海外の女優や俳優にも詳しくなれるかも！日本の映画のことも載っています。

・「ENGLISH JOURNAL」

生の英語を楽しみたい方はぜひ！海外の歌手や、有名人のインタビューなどが載っており、英語をとことん楽しむためのコーナーが盛りだくさんです！

・「CNN ENGLISH EXPRESS」

CNN のニュースで英語力を伸ばしたい方におすすめです。収録されているニュースには日本語訳がついており、初級・中級・上級に分かれてもいるので、レベルを選んで読むことができます。国際政策学部の英語の授業には CNN ニュースを扱うものもあるので、それと合わせて読んでみるのも面白いと思います！

● 日本文化にもっと詳しくなりたい！

・「サライ」

和の芸術、道具、食べ物、旅など、日本文化を幅広く紹介する雑誌です。私は、読むたびに「日本の文化でも、まだまだ知らないことだらけだなあ」と思います。シニアの方向けの雑誌なのですが、大学生も十分楽しめます！

・「和楽」

こちら、歌舞伎や浮世絵といった日本の芸術、美術を楽しむための雑誌です。大きなサイズの本なので、写真のきれいさと迫力に驚くと思います！日本美術なんて堅そう・・・と思ってしまいがちですが、これを読めばきっと身近に感じられるはず。2ヶ月に1度発売される雑誌です。

● ほっと一息つきたい！

・「MOE」

最新の絵本を紹介する雑誌です。「ノラネコぐんだん」シリーズの工藤ノリコさん、「りんごかもしれない」シリーズのヨシタケシンスケさんなど、今大人気の絵本作家の著書が一目で分かります。私はこの雑誌でヨシタケさんの「それしかないわけないでしょう」を知って、大好きな絵本の一つになりました。スヌーピー、ムーミン、ミッフィー、ドラえもんなどのキャラクター特集も時々あります！

・「オレンジページ」

月に2回発売されている雑誌で、毎回おいしそうなお料理のレシピがたくさん載っています。料理好きな人は、ぜひ試してみてください。料理以外にも、生活に役立つ知恵が盛りだくさん。さらに！注目してほしいのが、読者のページにある「うろ覚え大賞」です。「サラリーマン」「太陽の塔」「人魚」など、決められたお題を何も見ずに描くコーナーで、読者から送られてきた絵が毎回面白すぎます。みなさんも自分で何も見ないで描いたり、友だちや家族にお題を出したりしてみても、笑えるかもしれません。おうち時間にぴったりの雑誌だと思います！

**最後までお読みいただき、
ありがとうございました！**



作成：飯田図書館ライブラリースタッフ

人間福祉学部福祉コミュニティ学科2年 池田聡

人間福祉学部福祉コミュニティ学科2年 奥村佳野

人間福祉学部福祉コミュニティ学科2年 丸山祐奈

人間福祉学部福祉コミュニティ学科4年 堀江詩織

国際政策学部国際コミュニケーション学科4年 長坂愛

国際政策学部国際コミュニケーション学科4年 熊王すみれ